

新除草・調節剤

題がない。

使用方法：今回実用化が認められたのは、暖地一毛作田の早期水稻（9月中旬までの刈取水稲）刈取跡のマツバイ防除用としてみとめられた。使用時期は水稻刈取後10日以内、使用量は10アール当り製品300～400gで、90～110ℓの水によくとかして加圧噴霧機で莖葉によくかかるように散布する。

使用上の注意；完全に落水し、雑草を露出させて薬液が充分かゝるよう散布する。その他、2,4-Dの使用に準ずる。

の移動性は大である。

人畜毒性は、マウス急性経口毒性LD₅₀＝4,600mg/Kgと小である。

使用方法：今回実用化が認められたのは、水稻刈取跡休閑田を対象としてである。使用時期はスズメノテッポウの2～3葉期前後、使用量は10アール当り製品250～400gで、70～100ℓの水によく溶かして均一に散布する。

使用上の注意；雨期や乾燥期を避けて散布する。

ダウボン

D P A 水 溶 剤

ダウ・ケミカル・インター
ナショナル・リミテッド

（取扱メーカー）日綿実業株式会社

石原産業株式会社

日産化学工業株式会社

対象作物：水稻刈取跡休閑田

性状・作用特性：本剤の有効成分は、2,2-ジクロロプロピオン酸であり、剤型はソーダ塩の85%水溶剤である。

本剤は、非ホルモン型移行型除草剤である。その殺草作用は、莖葉および根から吸収されて植物体内を移行し、代謝作用の阻害によっておこなわれる。その症状は、まず葉色が暗色を呈し、生長が止まり枯死する。

雑草種類に対する選択殺草性は、一年生および多年生のイネ科雑草に極めて大きく、広葉雑草には小さい。土壌中の残効は中程度、土壌中